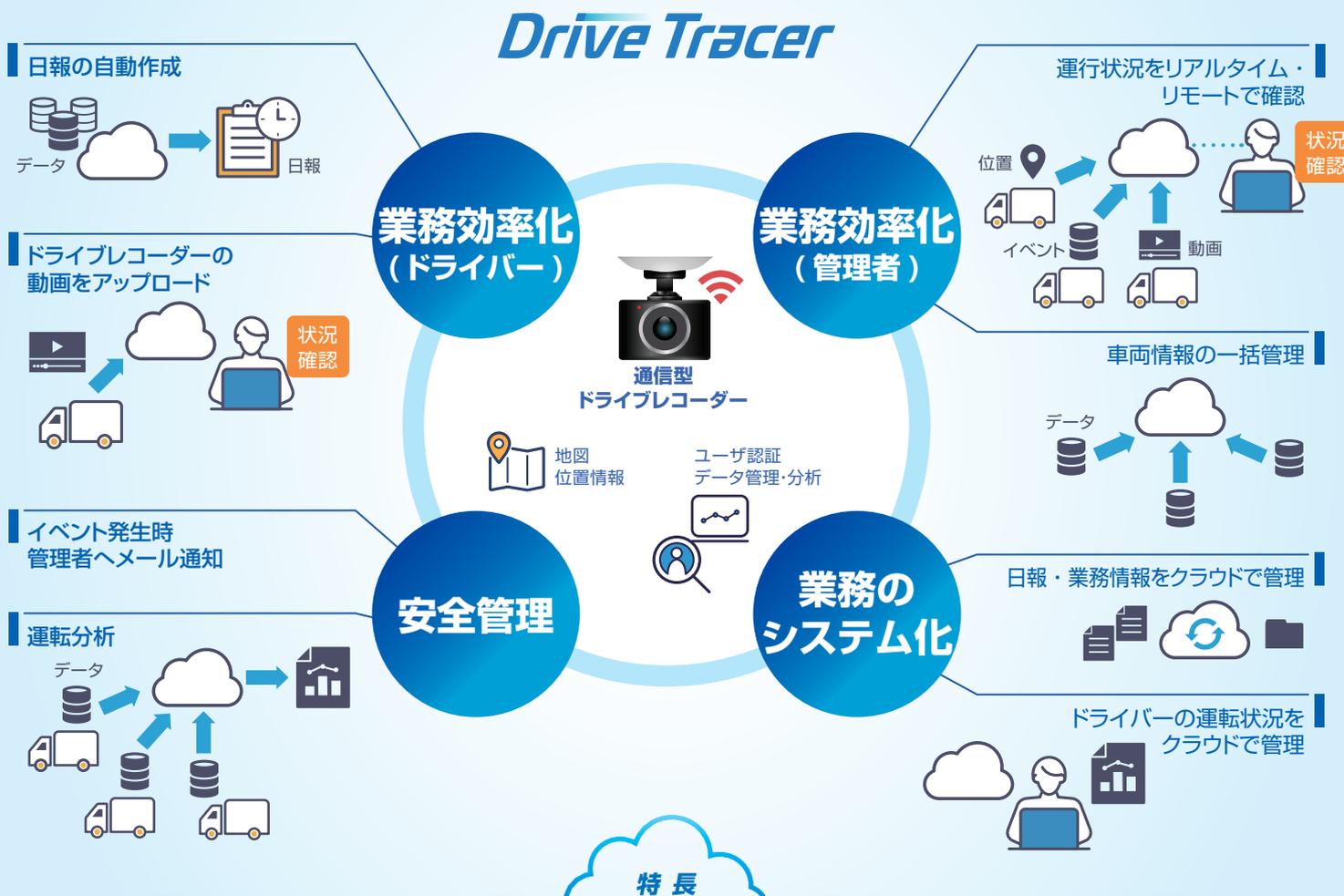


通信型ドライブレコーダーを活用したIoTテレマティクスサービス

Drive Tracer

「Drive Tracer」は、通信型ドライブレコーダーで録画した動画や検知した情報をクラウドで収集し、管理者がリモートで運転状況を確認できるサービスです。過去の情報はもちろんリアルタイムの情報も確認することができます。



特長

シンプルな操作性

直感的でどなたにでも使いやすいシンプルなデザインの管理画面を提供します。また、管理者はイベント通知を受信でき、効率的な状況確認が可能です。

簡単導入・簡単運用

クラウド型サービスで簡単に導入でき、管理者の運用負担を軽減します。また、ドライブレコーダーから自動で情報を収集するため、ドライバーの操作は不要です。

豊富な機能

リモートでの動画再生や走行中の位置情報の確認などの基本機能のほか、日報の自動作成、運転分析など便利な機能が充実しています。

高いカスタマイズ性

お客様のご要望に応じて機能を拡張・追加することが可能です。既存システムとの連携などご相談ください。

システム構成

「Drive Tracer」は、通信型ドライブレコーダー、クラウド (MaaSプラットフォーム)、管理コンソールで構成されています。クラウド型のサービスですのでネットワーク環境を準備するだけでスムーズな導入が可能です。



機能一覧

動画の再生	ドライブレコーダーで録画した動画をリモートで確認することが可能です。見たい場面を日時指定、または発生したイベントを指定して確認できます。
イベントの通知	イベントが発生した際に管理者にメールを送信する機能です。メールを送信するイベントや宛先のメールアドレスは管理者が自由に指定することが可能です。
イベントの収集	ドライブレコーダーで検知したイベントを収集します。位置情報と組み合わせて地図上で確認できます。
位置情報の収集	走行中の車両から位置情報を収集します。車両現在位置や走行履歴を管理画面で確認できます。
車両管理	ドライブレコーダーを設置した車両情報を登録することができます。車検時期や利用者の管理などに利用できます。
運転分析	イベント発生回数やドライバー毎の比較をグラフで表示します。
日報自動作成 (カスタマイズ)	ドライブレコーダーから収集した走行履歴を基に走行日報を作成できます。 ※集計したい情報などをご相談ください。
アプリアップデート	ファームウェアアップデート、アプリアップデートにドライブレコーダーの取り外し不要です。

各業種の利用例

事故や災害などリモートからリアルタイムで状況確認



イベントをメール通知する機能を使用することで、事故や災害により検知したイベントをリアルタイムで認識することができます。管理者はメール受信後、リモートでドライブレコーダーの動画を確認し、現場の状況を素早く把握できます。



日報の自動作成 / ドライバーの運転分析



通信型ドライブレコーダーから収集したデータを基に走行履歴、走行距離を分析し、日報を自動で作成します。また、クラウドで収集した運転データから分析を行い、ドライバーの運転傾向の把握により、改善に繋げることができます。



現在の運行状況をリモートで確認



通信型ドライブレコーダーから収集した位置情報を基に現在の運行状況をリモートで確認できます。



利用状況を自動で分析



通信型ドライブレコーダーから収集したデータを基に走行履歴、走行距離を分析し、利用状況をリモートで把握できます。



現在位置をリモートで確認



位置情報を自動でクラウドにアップロードするため、現在位置をリモートで確認することができ、返却時間の目安を立てることに役立ちます。



※記載されている社名、商品名は各社の商標または登録商標です。記載されているサービス / 仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。このカタログの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。

EB20220803p

開発・販売元

NSW



NSW株式会社
エンベデッドソリューション事業本部 営業統括部
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町2-15
TEL: 03-4335-2610 FAX: 03-4335-2651
E-mail: mps-info@gw.nsw.co.jp

Humanware By Systemware